

まちづくり懇談会

町では、自治組織や団体等からの要請に応じて、地域の政策課題等について意見交換を行う「まちづくり懇談会」を実施しています。

懇談会では、町民の皆さんと町長が直接対話し、皆さんの声を今後の町政に反映させるとともに、地域で抱えている課題について、皆さんからいただいた意見や提言をもとに、各種施策や事業に生かしていきます。

7月10日(木)には、民生委員児童委員協議会の皆様との懇談会を開催し、平成20年度の予算・主要事業を説明。続く意見交換では、デマンドタクシー、自主防災組織についての質問・意見をいただきました。

懇談会の開催を希望する自治組織や団体等は、総務課までお問い合わせください。

【問合せ】総務課 ☎029-288-3111 (内線214)



家庭教育シンポジウム

6月21日(土)、コミュニティセンター「城里」において、家庭教育推進事業「家庭教育シンポジウム」が開催され、幼稚園・小中学校職員、保護者など250人が参加しました。

コーディネーターに鈴木康之氏(水戸女子高等学校校長)、ほか2人のシンポジストを迎え、「みんなで支える家庭の力 みんなで育てる地域の力」をテーマに議論を展開。「親から子どもに積極的に話しかける」「父親も母親も協力して育児に向き合うことが大切」等、家庭教育の重要性や家庭のあり方について活発な意見交換が行われ、参加者からも多くの質問がなされました。

鈴木先生は「大人のあり方が子どもを変える。まず、親や教師が、大人の在り方を正すことから考えて欲しい」とお話されていました。



ちびっこ川魚つかみどり大会

晴天に恵まれた7月6日(日)、道の駅かつら協の那珂川河川敷にて「ちびっこ川魚つかみどり大会」が開催されました。

特設のいけすに、ニジマスやヤマメなど約3000匹が放流され、午前10時の合図で川魚つかみどりがスタートしました。

子供たちは一斉にいけすに入り、水の冷たさと、魚の感触に歓声をあげながら一生懸命魚を追いかけました。いけすの中には60cmを超えるニジマスもいて親子で協力して捕まえる様子も見られました。



ふれあいサロン

町では地域介護予防活動支援事業として介護予防に資する活動組織の育成・支援を行っています。現在城里町には「自主活動ふれあいサロン」と称する高齢者の方の地域での交流の場が住民主導のもと組織されており、6月には下古内、那珂西、小松、錫高野でそれぞれ新たに自主活動ふれあいサロンが立ち上げられました。

6月30日(月)、錫高野田園都市センターにて立ち上げの催しが行なわれたふれあいサロン、「錫高野いきいきサロン」では、ボランティアの皆さん方の支援のもと、シルバリーハビリ体操をしたり、民話を聞いたりなど楽しい時間を過ごしました。

これからも月に1回程度は皆で集まり、体操や会食をして交流をはかり、健康維持と介護予防を心がけていきたいとお話されていました。



第2回城里町音楽のつどい

6月26日(木)、コミュニティセンター「城里」において「第2回城里町音楽のつどい」(城里町教育研究会主催)が開催され、町の幼稚園、小中学校15校が参加しました。幼稚園児たちのほほえましい合唱奏。小中学校の演奏では、和楽器や金管楽器の合奏に踊りを加えたり、衣装も工夫を凝らすなど、各校とも個性あふれるパフォーマンスを披露しました。観客から演奏のリズムに合わせて自然と拍手が起こり、会場全体が一体となる場面もありました。

また、中学校吹奏楽部の息を飲むほどの洗練された演奏には、会場から惜しみない拍手がおくられ、この日講評をされた明石信夫氏(元上天野小学校校長)からは、「高校生の演奏を聴いているのかと思うくらいレベルの高い演奏でした。」と、お褒めの言葉をいただきました。

「音楽」は「音を楽しむ」と書きますが、この日奏でられた音楽を、演奏する方も聴く方も大いに楽しみ、すばらしい音楽のつどいとなりました。



常北中



七会東小



桂幼稚園

青山花しょうぶ園・

花菖蒲まつり

6月21日(土)、22日(日)の2日間にわたり、青山花しょうぶ園において、花菖蒲まつりが行われました。

青山花しょうぶ園は、石塚にお住まいの山崎秀雄さんが趣味で始めたハナシヨウブの栽培を、10年ほど前から青山の休耕田に場所を移したもので、現在は約60種、16000株の花を育てておられます。

週末に行われた花菖蒲まつりでは、花を眺めながら茶会をしたり、花株の販売などを行い、たくさんの人でにぎわいました。毎年足を運ぶファンが多いそうですが、今年は県外から見に来る方もおり、大自らのなかで鮮やかに咲くハナシヨウブに感激の様子でした。

ハナシヨウブの見頃は、6月上旬から下旬頃。花の咲く時期の週末は、花しょうぶ園の隣にテントを立て、花を見に来たお客さんにお茶をふるまいながら一緒に話をするのが山崎さんの楽しみ。「私が一生懸命花を作り続けることで、皆さんに喜んでもらうことが私の生きがいです。ハナシヨウブを見に来る人達が、この場所を出会い、新しい人と人の絆が生まれ、ここが、そういう場所になってくれれば」とお話されています。



山崎 秀雄さん



第2回城里町長杯

ミニバスケットボール大会

大会

7月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、「第2回城里町長杯ミニバスケットボール大会」が石塚小学校体育館、桂体育館の2会場で行われました。大会には町内外から16チームが参加しました。

町内からは古内ミニバスケット少年団・桂ミニバスケット少年団・七会ミニバスケット少年団が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。

各試合とも接戦でしたが、本町から出場した七会ミニバスケット少年団が厳しい試合を制し、見事準優勝を勝ち取りました。

結果は次のとおりです。



準優勝した七会ミニバスケット少年団

優勝 準優勝 第3位

内原ミニバスケット少年団
七会ミニバスケット少年団
石神ミニバスケット少年団

根小屋天満宮御田植祭

6月22日(日)、上坪の根小屋天満宮にて御田植祭が行われました。

御田植祭とは1年間の豊作を祈る田植えの祭です。根小屋天満宮では、戦後しばらく途絶えていた御田植祭を、建物の修復を機に復活。今年で16年目を迎えました。

祈願祭の後、特設ステージではカラオケやマジックショー、桂太鼓連の演奏などの催しが行われ、地元子どもたちからお年寄りまでたくさんの人でにぎわいました。



浄水場見学

水道課では、水道についての理解を深めてもらうことを目的に、町内の小学4年生を対象に浄水場見学を受け入れています。

6月20日(金)に石塚小学校、7月9日(水)に小松小学校と沢山小学校の4年生が、町内の浄水場を見学しました。

見学では、水道課の職員が施設を案内し、水の汚れを取り除く「ろ過器」の模型を使っている工程を説明したりしました。最後に浄水場の水とミネラルウォーターを飲み比べる「利き水」などを行いました。

児童たちは、いつも飲んでる水がさまざまな工程を経て浄水場の役割の大切さを改めて感じたようでした。

